

関西支部勉強会レポート

第 57 回関西支部勉強会

動物園に科学コミュニケーションを導入したい人の話

日時 2018 年 1 月 27 日 (土) 18:00-19:20
場所 京都大学 吉田泉殿
ゲスト 大淵 希郷氏 (フリーランス科学コミュニケーター)
人数 12 人

2018 年 1 月 27 日、大淵希郷さんをお招きして、第 57 回関西支部勉強会を行いました。学内を中心にいろいろな方にお越し頂きました。

だいたいの流れ：

-18:15

ゆるゆる集まる。自己紹介では、「好きな生きもの」を織り交ぜてもらうことに。「トラ」「イヌ」「フクロウ」「ラン」の他、「草」「姪っ子」などバラエティ豊かな生きものたちの名前が挙がりました。

18:15-19:00

大淵さんからの話題提供。

19:00-19:20

質疑応答や議論など

お話の詳細：

1. 自己紹介
 - ◇ 大学院ではトカゲの研究。釣竿でトカゲを捕獲！
 - ◇ 上野動物園勤務を経て、未来館の科学コミュニケーターに。
 - ◇ さらにその後、京都大学野生動物研究センター特定助教、日本モンキーセンター・キュレーターとして科学コミュニケーションをすすめる。
 - ◇ 現在フリーランス科学コミュニケーターとして活躍中。
2. 科学コミュニケーションとは？
 - ◇ 市民への科学的知識を供与することよりもむしろ、市民の科学的思考を育み意見を交

関西支部勉強会レポート

わすことを目的とする。

3. ヤクシカ ZOO プロジェクトの紹介

- ◇ 屋久島ではヤクシカが害獣として問題に。捕獲後に山に埋められる個体が多い。
- ◇ 有効活用できないか？
- ◇ 動物園では切り身の肉などが動物たちに与えられている。
- ◇ 死んだヤクシカを動物たちに丸ごと与えること（屠体給餌）で、動物本来の行動が引き出され、動物福祉につながる可能性が高い。
- ◇ 大牟田動物園にて、動物（ライオン、キツネ）にヤクシカを与えたところ、普段は見られないような、おそらく野生でとるような行動が見られた。
- ◇ 屠体給餌は一般公開形式で実施。様子を見ていた（ヒトの）親子間でもさまざまなコミュニケーションがうまれていたようだ。
- ◇ 今後、科学コミュニケーションのスキルを応用することで学校や企業、マスコミなどさまざまなステークホルダーと協同して、活動を継続、拡大させていきたい

4. スマホ顕微鏡を活用した取り組みの紹介

- ◇ スマホ顕微鏡の紹介
- ◇ スマホ顕微鏡を使いながら市民と一緒に花粉の調査を行っていく予定
- ◇ 花粉症について科学コミュニケーションを行う場にもなる

5. 質疑応答や議論など

Q. スマホ顕微鏡はどれくらいの年齢から使えるの？

A. 普通の顕微鏡ができれば使えるはず。小学校の高学年は確実に使えるはず。

Q. (日本に) 科学コミュニケーターってどれくらいいるの？

A. 資格とかではないために実数は不明。未来館出身の科学コミュニケーター（最大5年の任期制のため、変動があるがだいたい常に40人くらい）、フリーランスで活動している人など。技術系の分野では、科学コミュニケーター的な活動をしている人はそれなりにいるかもしれないが、職務として科学コミュニケーターをしている人はかなり少ないはず。なお、未来館出身のフリーランス科学コミュニケーターは大淵さんともう一人しかいない。

Q. 科学コミュニケーションに関して欧米と日本の違いは？

A. 欧米の方が進んでいる印象。科学コミュニケーターの知名度は日本ではほとんどない。

関西支部勉強会レポート

Q. 未来館の科学コミュニケーターってその後どのような職業についているの？

A. 例えば研究職や広報関係の職など。

Q. 科学コミュニケーターに必要なスキルは？

A. 相手がどういうことを言っていてどう思っているかを読み取る能力。いわゆる空気を読む力。コンテキストのずれを読み取って対話にもっていく力も必要。こういった力は実習を繰り返すことで養成できる。

Q. 科学コミュニケーターとしてのモチベーションは？

A. 動物園を変えたい！という思いが当初のモチベーション。それは今でも変わらない。未来館時代には、来館者その人自身のことを知ろうというモチベーションでフロアに立っていた。

Q. ヤクシカ Zoo プロジェクトに関して、経済的なインパクトはどれくらい？

A. まだ分からない。これからしっかり考えていきたい。

科学コミュニケーション研究会 関西支部有志

第 57 回 記録担当：一方井祐子（東京大学）

第 57 回 運営担当：一方井祐子（東京大学）、水町衣里（大阪大学）、加納圭（滋賀大学）